

# 浅間の旋風

## 元気! やる気!! よしあき!!!



発行責任者：山岸喜昭 〒384-0022 長野県小諸市南町3丁目9番地19 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320 <http://www.asamakaze.com> E-mail [yamagishi@ctknet.ne.jp](mailto:yamagishi@ctknet.ne.jp)

### 2月定例会

### 代表質問 「抜粋」

#### 知事の政治姿勢について



山岸／知事は対話と共創で県政を進めていくとのことだが、知事の言う「対話と共創」の場として、県民対話集会や県民参加型予算を行っているが、こうした場での意見と議会との役割をどのように考え、県政を進めていくのか。

知事／県民の皆様との対話集会、あるいは県民参加型予算につきまして、ともすれば県行政は、住民の皆様と距離が遠くなりがちであります。都道府県といえども、自治体、自治組織でありますので、そういう意味では住民自治の実質化を進めたい、そういう思いで取り組ませていただいているところでありますし、まさに「対話と共創」を掲げている、この理念を具体化する環境だと考えております。また、県民対話集会で出てきたご意見等も大きな形で政策として具体化し、例えば条例化する、予算化する、そうしたプロセスでは議会の皆様方のご理解ご協力なくしては、決して進めることができません。私としては、県民の皆様方の声を思い、こうしたものを執行機関の立場で、しっかりとお伺いしながら、大きな政策の方向性については県議会の皆様方に十分私の考え方を含めてご説明し、理解をいただきながら進めていきたいというふうに考えております。

#### 対話と共創の実現、職員のモチベーション向上について

山岸／「対話と共創」という理念の実現には、県民や県内企業との意識の共有が重要と考える。現行の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2・0」は県民に十分浸透したと評価しているのか。また、知事は次期総合計画について、県

づくりの方向性を県民と共有し、ともに取り組むためと位置付けている。この実現のための取り組みを伺う。



知事／しあわせ信州創造プラン2・0の県民への浸透は、必ずしも十分に県民の皆様方が広く認知して

いるという状況には至りませんでした。次期計画につきましては、こうした今の状況を反省しながら、県民の皆様方にできるだけわかりやすく伝えていく工夫をしていきたいと思っております。雑誌風にとまとめたサマリーブックの作成、あるいはポスターの作成、さらには検索機能を持ったデジタル版の総合計画の作成、さらにはSNSを活用した発信、こうした取組により総合計画の考え方をなるべく広く県民の皆様方と共有できるように取り組んでいきたいと考えております。

#### 政策を力強く進めるための考え方について

山岸／次期計画において、本県の特性として「学びの風土と自主自立の県民性」、「自立分散型の県土」、「変化に富んだ豊かな自然環境」、「多様な文化と豊かな交流」などに触れているが、こうした長野県の特徴、可能性を計画の推進にどう結び付けていくのか。

知事／県として総合計画を作るからには県としての強みや個性、こうしたものを意識しながらこれまでにも策定に当たってきました。また実行段階においても、今回の計画においては「政策構築・推進に当たっての共通視点」というものを設けさせていただきました。学びと自治の力を生かしていくこと、そして本県の特徴ある地形地質、豊かな自然環境、歴史や風土、伝統文化、こうした信州の強みや地域の個性を生かしていくということをと掲げさせていただいております。全ての政策

の推進にあたりまして、こうした取組、こうした視点を強く意識しながら進めていきたいと考えております。

#### 国への意見書(抜粋)

- 国民皆歯科検診の実施
- 認知症の人も家族も安心な社会の構築
- 地域のグリーントランスフォーメーションの促進
- 新型コロナウイルス感染症対策の継続
- 新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化



国交省へ中部横断自動車道陳情

#### 第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会の開催に関する決議

令和10年に本県での開催を目指す国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会は、県民に夢や希望を与え、ともに、健康づくりを推進し、「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり」につながり、さらに本県の魅力向上・発信のほか、観光や経済活動への波及効果も期待されている。

県議会は、第82回国民スポーツ大会(冬季大会及び本大会)及び第27回全国障害者スポーツ大会が長野県で開催されるよう要望することを決議し、国へ財政支援の充実を求める意見書を提出しました。

### 四期に向けての活動指針

- 新校小諸義塾高校から世界で活躍する人材育成
- スピード感を持って活動し、県民市民が目を向ける県議会を目指します
- 次世代を担う子供たちに夢と希望を与える活動
- 身近で分かりやすい県政の実現

- 世界を魅了する観光戦略
- 豊かで活力ある農業・林業振興
- 浅間山麓広域連携で地域経済の活性化
- 浅間山麓の豊かな大自然を次の世代に繋げる
- 安心・安全なまちづくり
- 少子化と人口減少対策に立ち向かう
- 夢に挑戦する学び～「共学共創」で新しい学校づくり



# 浅間の旋風

## 元気! やる気!! よしあき!!!



小諸商工会議所新役員と知事訪問(4月17日)

発行責任者：山岸喜昭 〒384-0022 長野県小諸市南町3丁目9番地19 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320 http://www.asamakaze.com E-mail yamagishi@ctknet.ne.jp

# 令和5年度当初予算案

## 1兆456億534万6千円

総合5カ年計画「しあわせ信州創造プラン3・0」の基本目標である「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」の実現へプランに掲げる5つの政策の柱に沿って予算を編成

### 持続可能で安定した暮らしを守る

#### 持続可能な脱炭素社会の創出

- 住宅のオールZEH化の実現に向け、より断熱性能が高い省エネ住宅への支援を充実
- エネルギー自立地域の創出に向け、市町村の再エネ導入・省エネ対策に対し5年で最大1億円を支援
- 「くらし信州」において、多様な主体による自由なプロジェクトや学びの提案・実行

#### 災害に強い県づくりの推進

- 激甚化・頻発化する災害に備え、国の5か年加速化対策を最大限活用した防災・減災対策を推進

#### 社会的なインフラの維持・発展

- 損傷が進んでいる道路インフラの修繕予算を増額し、通行車両や住民生活の安全・安心を確保

#### 公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上

- 交通事業者・国・市町村等とともに、持続可能で最適な地域公共交通の在り方を検討
- バス事業者による地域連携ICカード導入を支援し、公共交通機関のキャッシュレス化を推進

### 創造的で強靱な産業の発展を支援する

#### 成長産業の創出・振興、稼ぐ力とブランド力の向上

- 世界的なEVシフトの潮流を踏まえ、県内企業のEV市場への参入と海外展開を支援
- 新たな価値を創造する企業等の創業に向け、地域の起業家の掘り起こしや女性起業家支援を充実
- 本県の強みである「ぶどう、コメ、花き」の輸出を拡大し、海外でも稼げる農業に転換

#### 産業人材の育成・確保

- 県内企業との連携による奨学金返還支援制度を創設し、若者の県内就職・定着を促進
- 育児・介護等との両立に配慮したオンライン型職業訓練を提供し、デジタルスキルの学び直しを支援
- 農林業、建設業、観光業など各分野において、県内外の多様な人材確保と魅力ある職場づくりを支援

### 快適でゆとりのある社会生活を創造する

#### 地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進

- 森林づくり県民税を活用した里山整備、まちなかグリーンインフラの推進等により、快適で潤いのある暮らしを実現

#### 本州中央部広域交流圏の形成

- 信州まつもと空港の国際チャーター便の再開、インバウンド受け入れに向け、入国審査用施設を整備

#### 移住・交流・多様ななかかわりの展開

- 三大都市圏から移住する子育て世帯に対し、子ども一人当たり最大100万円を移住支援金に上乗せ



総合5カ年計画研究会

- G7外務大臣会合の開催、河北省友好提携40周年等を契機とした世界とのパートナーシップの拡大

#### 世界水準の山岳高原観光地づくりの推進

- 世界から選ばれるサステナブルな観光地を目指し、国際認証の取得等に挑戦する意欲ある地域を支援
- 観光需要の本格回復やインバウンドの獲得に向け、切れ目のないプロモーションを国内外で展開

#### 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進

- 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の成功に向け、競技力向上や競技施設の整備を着実に推進

### 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

#### 若者の結婚・出産・子育ての希望実現

- 「少子化・人口減少対策戦略検討会議」を設置し、結婚・出産・子育ての支援策や財源等について検討
- 0～1歳児保育について国基準以上に保育士を配置する私立保育所等を支援し、質の高い保育を確保

#### 子ども・若者が夢を持てる社会の創造

- 給付型奨学金制度の創設や生活保護世帯に対する学習塾費用等の助成により、大学等への進学を応援
- ヤングケアラー専用相談窓口の設置やコーディネーターの配置により、支援体制を整備

### 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる

#### 一人の子どもも取り残されない

- 「多様性を包み込む」学びの環境の創出
- 認知や発達の特徴を把握するアセスメントやICT機器を活用し、児童生徒にとって最適な学びを実現
- 不登校児童生徒に多様な学びの場を提供するため、「信州型フリースクール」認証制度の構築を検討